



鼻高公民館だより

発行：高崎市鼻高公民館 高崎市鼻高町 33-5 電話・FAX 322-9100
まなびネットたかさき HP <http://takasaki.manabi365.net/>



《参加者募集》

〓地元再発見〓 地元の素材を使った工作教室
鼻高の竹で風鈴を作る
〓風情ある竹風鈴の音色を楽しもう〓

地元の竹林で切り出した竹を材料に、公民館で風鈴に加工します。

ガラスの風鈴の澄んだ音色より青竹の風鈴は落ち着いた音が多く、竹林を吹き抜ける風や里山風景を思わせる風情があります。

ぜひ一緒に作って音色を楽しんでみましょう。



見本は公民館にあります。

【期日】 令和8年7月29日(水)

【時間】 午前10時～正午

【場所】 鼻高公民館・2階講義室

【対象】 鼻高地区の成人、12人

【費用】 200円(タコ糸、金属の重り等)

【持ち物】 軍手、糸切りハサミ

7月の休館日

7月20日(月) 海の日

【講師】 地域指導者
【申し込み】 7月1日(水)、午前9時から鼻高公民館で受け付けます。費用を添えて申し込みください。(土・日・祝日を除く)
【主催】 高崎市鼻高公民館



《参加者募集》

〓少年少女夏休みチャレンジ教室〓
**ガールスカウトと一緒に
夏休みワクワク体験**

ガールスカウトと一緒にゲームやクラフト作りに挑戦してみませんか。夏休みのひと時をみんなで楽しく過ごしてみましよう。

【期日】 令和8年7月30日(木)

【時間】 午前10時～正午

【場所】 鼻高公民館・2階講義室

他

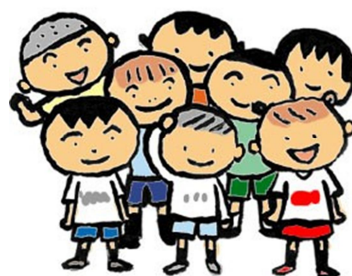
【対象】 小学校児童1年生～6年生(保護者同伴も可)

【定員】 30人程度

【費用】 無料

【服装及び持ち物】 動きやすい服装、上履き、水分補給の飲み物、タオル、ハンカチ等、

【指導者】 ガールスカウト隊員
【申し込み】 7月1日(水) 午前9時から鼻高公民館で受け付けます。(電話申し込み可 TEL322・9100。土・日・祝日を除く)



クールシエラスポット

暑い時期に公共施設などで涼しく過ごしていた
だく「ぐんまクールシエラスポット」に鼻高公民館を登録しました。ご利用ください。



鼻高の四季

II 写真で綴る鼻高の宝 ④

箕輪城攻防戦その4 II

箕輪城炎上

「秀麗榛名 紫に」

永禄9年(1566)に箕輪城攻防戦は最終局面を迎えます。

この年の8月にいよいよ武田信玄は、上信越国境の余地峠(下仁田)を2万の軍勢で超え、箕輪城が一望できる鼻高村の高台「鼻高砦(現福泉寺)」に本陣を置き箕輪城と対峙したのでした。

現在我々の住んでいる鼻高は、この時まさに戦場だった。

するものでした。この時の光景は「秀麗榛名の山容を紫に染めて 中央の榛名富士の山頂に紫雲がたなびいていた」とのことでした。

武田信玄は、この西上州侵攻が済むと一転して鉾先を京に向けます。6年後の元龜3年(1572)12月に遠江(静岡県)三方ヶ原で徳川・織田連合軍には大勝はするのですが、翌年4月に京都を目前にしなから遠征先で病死するのでした。後を継いだ武田勝頼(かつより)は天正3年(1575)長篠の戦いで大敗し、ついに天正10年(1582)に天目山で自害し、名門武田家は滅亡するのでした。

箕輪城小話

「トリンガム」

箕輪城攻防戦の中で興味深い話もあります。箕輪長野氏に仕えていた上州16槍の一人に剣聖と称えられた上泉信綱(のぶつな)が居ます。箕輪落城後に武田氏から仕官の要請があったにもかかわらず西国へ流れて4年後の元龜元年(1570)に上泉新陰流の剣法を創設したのでした。この上泉新陰流の門下から柳生宗厳(やぎゅうむねよし)などが輩出し、その子の柳生宗矩(むねのり)は、柳生新陰流の始祖として徳川幕府の兵法指南役となり代々その地位を継承し権勢を振るったのでした。

腹心であった藤井豊後守正保は、榛名方面を見回って城中に引き上げようとしたときに、たまたま出くわした武田四郎勝頼が一騎で豊後守に仕掛けてきたのである。勝頼は初陣で手柄を立てようと逸っていたので「よき敵逃がさん」と挑んできた。二人は馬の間に落ち、重なり合ってみ伏せまさに首をかかんとした時に、心配して勝頼を追ってきた原加賀守胤元(たねもと)が駆けつけて、藤井を引きずり倒し、勝頼に首を討たせた」とのことです。加賀守は「この後に勝頼を戒めたそうでは、ただ一人で高名手柄を立てると見方を離れて深入りするものではない。将なる者は軍勢を掌握して進退良き時に応じて臨機の処置をとるものである」と苦言を呈したとのこと。勝頼も「この時ばかりは、以後慎む」と素直に答えたとのこと。 (次号に続く)

箕輪城小話

「トリンガム」

武田信玄の跡取り勝頼ですが、初陣であったこの箕輪城攻防戦で討ち死にしているたかもしれないのです。「関八州古戦録」の中にこんな記述があります。『長野業盛の



復元された箕輪城の門